

「みんなで考えよう、公共施設のあり方ワークショップ」成果発表会の
開催について

多くの公共施設の老朽化が進み、今後、施設の改修や更新に多額の費用が必要となる一方、人口減少や少子高齢化など、公共施設を取り巻く環境が大きく変わる中、これからの相模原市らしい公共施設のあり方を考えるため、57名の市民の方に御参加いただき、市民ワークショップを行ってきました。

この度、これまでの検討成果を、より多くの市民の皆さんと共有するため、ポスターセッションによる発表会を開催しますので、お知らせします。

- 1 日 時 令和元年11月30日(土)午後1時30分～午後4時
(開場：午後1時15分～)
- 2 会 場 サン・エールさがみはら 1階 多目的室
(相模原市緑区西橋本5-4-20)
- 3 内 容
 - ・各グループの成果をまとめたポスターの展示
 - ・ポスターセッションによる発表・意見交換
 - ・講評・まとめ
- 4 その他
 - ・どなたでも参加できます。
 - ・事前の申込みは不要です。
 - ・参加費は無料です。

ポスターセッション・・・研究成果などを発表する手段の一つで、発表内容をまとめたポスターを掲示し、参加者を前に、そのポスターを使いながら説明、質問に答える形で行われます。参加者との距離が近く、活発なやりとりが期待されます。

問い合わせ
経営監理課
042-769-9240(直通)

ワークショップ成果発表会 を開催します！



～公共施設のこと、みんなで話し合ってみませんか？～

これからの相模原市の公共施設のあり方を考えるため、57名の市民の方にご参加いただき、8月から10月までに、3回の市民ワークショップを開催してきました。

最終回（第4回）は、これまでの成果をまとめたポスターを囲みながら、ワークショップメンバーと、ご来場のみなさんと一緒に話し合う、ポスターセッションを開催します。

日時：令和元年11月30日（土）

午後1時30分～午後4時（開場：午後1時15分～）

会場：サン・エールさがみはら 1階 多目的室

（相模原市緑区西橋本5-4-20）

内容：各グループの成果をまとめたポスターの展示

ポスターセッションによる発表・意見交換

講評・まとめ

時間内であれば、自由に入退場できます。

要件：どなたでも参加できます。

申込：事前の申込みは不要です。

参加費：無料

交通：JR横浜線・JR相模線・京王線

橋本駅南口から徒歩で約10分

会場周辺案内図



お車で越しの場合は、
お隣の緑区合同庁舎
第2駐車場（無料）をご
利用ください。



これまでのワークショップの内容はこちら

各回の資料や結果などは、ホームページに掲載しています。

相模原市 公共施設 ワークショップ

検索

発行

相模原市 企画財政局 企画部 経営監理課

〒252-5277 相模原市中央区中央2-11-15

042-769-9240

第3回ワークの結果（かたちにしよう！公共施設）

第3回ワークショップは、台風19号による影響が残る地域もある中での開催となりましたが、参加者のみなさまのご理解のもと、無事に終えることができました。

はじめに、讃岐先生より、ちょっとしたしつらえの工夫で魅力を高めている公共空間の事例や、施設の運営への地域の関わり方の事例を紹介してもらいました。

ワークの前半は、これまでのワークの内容を振り返りながら、「自分事」として、これからの公共施設に求めるテーマを考え、コンセプトやアイデア、実現するために必要なことなどを話し合いました。

後半は、第4回のポスターセッションに向け、グループごとに、発表用ポスターのデザイン（素案）を作成しました。



各グループとも、楽しく、そして白熱した議論が行われ、時間が足りなかったという声も。

<各グループで決めたテーマ>

第4回（最終回）の発表会で、どのようなポスターがでてくるのか、楽しみにしててください。

	緑区（10/20開催）	中央区（10/26開催）	南区（10/27開催）
グループ 1	みんなが集まる緑区 ～もっと知りたい、伝えたい～	今日、どこ行く？今日、何する？ ふらっとたちよる相模原	じゃんじゃか 見える化 市民参加
グループ 2	つながる ～青野原コミュニティモール～	地域を育てる ホットな居場所	トイレで相模原を変える！
グループ 3	Let's Go!! 私の好きな場所 "みんなが乗れる自分の施設"	魅力発信さがみはら!!	みんなが気軽に 自由に集まろう!!



ワークの内容は、首都大学東京の小野さん（学生）に説明してもらいました。



グラフィックコーディングには、女子美術大学の山川さんと大石さん（学生）にご協力いただきました。

今回のワークショップは、首都大学東京の讃岐先生と学生の皆さんの協力をいただいています！



讃岐 亮 助教 プロフィール

首都大学東京 都市環境学部 助教
専門は、都市計画学。
これまで、多くの自治体において、公共施設の再編に関する計画策定などを支援。

公共性という言葉は、かつては「行政の活動」という意味合いが強かったと思いますし、今でもそれは大事なことのひとつです。しかしこれからは、「市民が共有する利益・財産」「誰もが拒まれない開かれた空間や情報」といった意味が、より大切になるはずです。

最終回(第4回)は、これまでに皆さんが育ててきた「より良い公共施設のあり方」の考えを、「自分事」として発表し合う場になります。開かれた場で、それぞれのアイデアを共有し、楽しい時間にしましょう！

